

筑波大学・藤岡正博

- ・作成日：2016/05/30
- ・受け入れ可能な学生：学部卒研究生・修士課程・博士課程（修士・博士に社会人枠あり）
- ・連絡先：fujioka.masahiro.gn@u.tsukuba.ac.jp, 0267-98-2412
- ・URL

研究室：<http://www.u.tsukuba.ac.jp/~kawada.kiyokazu.gu/index.html>

個人：<http://mfujioka.web.fc2.com/>（1年以上更新できていません）

演習林：<http://www.nourin.tsukuba.ac.jp/~forest/index.html>

専攻：<http://www.agbi.tsukuba.ac.jp/~seiken/index.html>

私の正式な所属は生命環境系ですが、これはとても大きなグループです。ふだんの会議や学位の審査はもう少し細かい生物圏資源科学専攻（学部から学科ぐらい）でやっています。研究室としては正式には「地域資源保全学分野」ですが、実態としては「森林生態環境学分野」といっしょに育林学研究室（通称）という教員6名からなる大部屋になっています。

この研究室は、その名の通り、育林学や森林植物学が主流です。鳥学はおろか、動物学の研究室でもありません。さらに、私の勤務先は附属演習林です。現在は長野県の野辺山にある八ヶ岳・川上演習林というところにいます。

私はあくまで育林学という林学の一分野の教員として採用されており、仕事としては演習林の管理運営がかなり比重を占めています。学生にはさまざまな野生動物を扱ってもらっていますが、哺乳類を希望する人が多いのが実情です。もちろん、鳥の研究も可能です。私の担当学生は筑波地区にいますので、私が手取り足取り指導することはできません。自立して勉強する姿勢と習慣が必須です。

私もあと5年で定年ですので、現在高校生の方は対象外です。大学院生は筑波大学以外からも受け入れ可能で、毎年8月と2月に翌年度入学の入試があります。